

林道除草工事施工管理基準

1 目的

この基準は、林道維持修繕工事の施工について、契約書類に定められた工期、工事の目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2 管理の項目及び方法

(1) 施工管理の内容

項目	種目	内容
工程管理	工事の進行管理	工事工程表に基づき各工種を適期に施工するとともに、工事が工期内完成するよう管理する。
	工事経過の記録	工事日報を作成し、工事の経過、指示、承諾、協議事項等を記録する。
出来形管理	出来形数量の計算	出来形野帳等又は出来形図表等に基づき、出来形数量を算出する。
写真管理	工事写真の撮影及び編集	着工から完成までの工事経過、出来形、品質管理の実施状況、災害の状況等の写真撮影及び編集を行う。

(2) 工程管理

1) 工事の進行管理

- ア 工事の進行管理は、計画と実行を対比させた工程表により行わなければならない。
- イ 工事工程表の作成に当たっては、各工種が適期に施工できるよう十分に検討しなければならない。なお、計画と実行に著しい差異が生じた場合は、その対策を講じて変更工事工程表を作成しなければならない。

2) 工事経過の記録

工事の進行管理の資料とするため、着工から完成までの日々について、天候、作業内容、機械の稼働、出役人員、概略の出来形数量、指示事項などを記入した工事日報等を作成しなければならない。

(3) 出来形管理

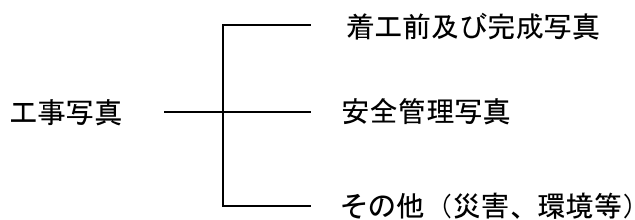
1) 出来形数量の計算

出来形数量の計算は、出来形野帳、出来形図等に基づき、所定の様式により実施するものとする。

(4) 写真管理

1) 工事写真の分類

工事写真は、次のように分類する。



2) 工事写真の撮影

ア 工事写真については、施工前、施工後（完成）の2枚1組写真を同一箇所方向で撮影するものとし、撮影箇所は次のとおりとする。

工 種	撮 影 箇 所
林 道 除 草	林道毎に標準的な箇所を1ヶ所以上する。

イ 撮影に当たっては、原則として次の項目を記載した小黑板、標尺等を被写体として共に写し込むものとする。

- (1) 作業年月日
- (2) 工事名
- (3) 作業項目
- (4) 林道名
- (5) 測点（位置）
- (6) その他参考となる事項

3) 写真の色彩

写真は原則としてカラーとする。

4) 写真の整理方法

工事写真は、林道ごとに整理するものとする。

5) 工事写真帳は、A4判以上を標準とする。

6) 工事写真帳の提出は、次によるものとする。

ア 工事写真帳は、工事完成時に1部提出する。

イ 監督員が特に指示する写真については、指示する時期に指示する部数を提出する。